

平成15年度事務事業評価表

担当	企画部	情報ネットワークセンター	内線等	66-1717
----	-----	--------------	-----	---------

事業コード		事務事業名	デジタルアーカイブ推進事業		
根拠法令等	蒲郡情報ネットワークセンターの設置及び管理に関する条例	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
市民とともに歩むまちづくり	地域情報化

②事務事業の内容

対象（受益者）	一般市民に対して
手 段	市が保有するアナログデータをデジタル変換して資料を保存することにより
想定する成果	再現性の高い資料として容易に検索閲覧できる

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
デジタル化したファイル数	720	17,250	2,000
公開されたファイル数	450	11,950	2,000

④成果指標

成果指標名	①	②
デジタルデータの公開率		デジタル化したファイル数（累計）
成果指標の説明	公開されたデジタル化ファイル（累計）/デジタル化ファイル（累計）	デジタル化したファイル数（累計）

⑤事業の進捗状況（一般会計）（千円）

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標①	計画	-	-	72.1%
	実績	62.5%	69.0%	-
成果指標②	計画	-	-	19,970
	実績	720	17,970	-
事業費	事業費	4,291	16,344	1,200
	人件費	826	1,623	1,670
	(人数)	0.1	0.2	2.0
	合計	5,117	17,967	2,870
財源内訳	国			
	県		15,327	
	市債			
	その他			
	一般財源	5,117	2,640	2,870

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	50年分の広報がまごおりをデジタルアーカイブ化でき、現状での保存作業が終了した。また、これらのデータに検索データを付加してホームページで一般公開した。
経済効率性	2	2	投下した事業費が資産に変わるという面をもった事業であり、投入した予算に見合った成果となっている。また、アーカイブファイルの公開のためのシステム開発を職員による自己開発で行い、相当の経費圧縮を実現した。
事務効率性	3	3	大量の人員投入はしていないが、それ以上の成果をあげている。
必要性	3	3	行政のアカウントビリティを高めるためには、デジタルアーカイブの重要性をさらに啓発していく必要がある。
小計	10 / 12 満点中	10 / 12 満点中	
市民参加度	0	-	行政内部にある資料からまず事業対象とした。デジタルアーカイブ化の有効性をアピールできた時点で市民からの要望が予想される。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	一般市民や企業に対してデジタルアーカイブの重要性を啓発していくため、広報がまごおりの公開という施策を実施したが、行政が持つアナログ資産をさらにデジタルアーカイブ化していくには膨大な時間が必要となるので、市民参加の可能性を探りながら事業を推進したい。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

広報がまごおりやホームページを使って市民に必要性を啓発した。

⑧今後改善すべき点

デジタル化されたデータのほとんどが静止画ファイルであり、動画データのデジタル化やストリーミング技術を使った動画データ公開といった方向に目を向けていく必要がある。また、動画編集技術を身につけた職員の数を増やすことが重要。

⑨平成17年度予算に反映する項目

職員の動画編集研修の実施

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	企画部	情報ネットワークセンター	内線等	66-1717
----	-----	--------------	-----	---------

事業コード		事務事業名	センター科学館施設維持管理事業		
根拠法令等	蒲郡情報ネットワークセンターの設置及び管理に関する条例		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
市民とともに歩むまちづくり	地域情報化

②事務事業の内容

対象(受益者)	施設利用者に対して
手 段	施設内外の環境を安全で快適に保ち
想定する成果	利用者が快適に楽しく過ごせるようにする

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
施設概要	鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)、地上3階建、延床面積3281.08㎡、平成10年9月完工		
開館日数	361日	356日	350日
入場者総数	93,066人	82,034人	80,000人
1日あたりの入場者数	257.8人	230.4人	228.6人

④成果指標

成果指標名	①	②
	1日あたりの維持管理費	入場者1人あたりの維持管理費
成果指標の説明	事業費/開館日数	事業費/入場者総数

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	74,286円
	実績	92,953円	79,112円	-
成果指標 ②	計画	-	-	325円
	実績	361円	343円	-
事業費	事業費	33,556	28,164	26,000
	人件費	10,742	14,205	14,618
	(人数)	1.3	1.75	1.75
	合計	44,298	42,369	40,618
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	103	98	100
	一般財源	44,195	42,271	40,518

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	2	事業経費を削減させながらも、施設の安全性・快適性の水準は前年並みに維持できている。
経済効率性	1	1	近隣の自然史系博物館と比較すると入場者1人当たりのコストが高く、経費の圧縮がさらに必要である。
事務効率性	2	2	特定の職員に事務が偏る傾向があるが、投入された人員に見合った成果をあげている。
必要性	3	3	施設運営において維持管理事業は必要不可欠の事業である。
小計	9 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	利用者へのアンケートを継続して実施している。
合計	10 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	施設利用者から施設の維持管理状態について直接ほめていただく機会がある。今後もそうした印象をもっていたできるようにしていきたい。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・節電に努め、光熱水費を大幅に圧縮した。 ・清掃委託料を低減し、経費を圧縮した。 ・玄関マットのリース使用を廃止し、消耗品として調達して経費を低減した。 ・芝生の維持管理委託を廃止し、職員で維持管理を行うようにした。

⑧今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> ・施設等の不良箇所の修繕を行い、快適な環境と安全性を確保する。 ・利用頻度の低い部分について、有効活用につながるような改善を行う。
--

⑨平成17年度予算に反映する項目

--

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	企画部	情報ネットワークセンター	内線等	66-1717
----	-----	--------------	-----	---------

事業コード		事務事業名	センター科学館宣伝事業		
根拠法令等	浦郡情報ネットワークセンターの設置及び管理に関する条例	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
市民とともに歩むまちづくり	地域情報化

②事務事業の内容

対象(受益者)	一般市民及び利用者に対して
手 段	ホームページや印刷物などを使ってセンター・科学館(イベントや講座を含む)を宣伝することにより
想定する成果	入場者を確保する。

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
主な事業	・ホームページを活用した宣伝 ・パンフレットの配布 ・施設内案内システム(古代クジラ画面)の運用		
施設利用者数	93,066人	82,034人	80,000人
NRCホームページアクセス数	241,000	291,000	300,000

④成果指標

成果指標名	①	②
施設利用者の対前年比		
成果指標の説明	当年度施設利用者数/前年度施設利用者数	

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標①	計画	-	-	97.5%
	実績	98.7%	88.1%	-
成果指標②	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	8,943	5,760	5,760
	人件費	1,652	1,623	1,670
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	10,595	7,383	7,430
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	10,595	7,383	7,430

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	蒲郡市及びネットワークセンターのホームページのアクセス数は年間150万件に達し、人口8万都市としては非常にアクセス数が多いが、これが即来館者確保につながっているかは判断が難しい。
経済効率性	2	2	年間100万人を超える入場者のあるラグーナ蒲郡との共同企画事業を展開するなど、大きな経費をかけずに宣伝効果をあげるよう事業費の抑制と効率性を考慮して行っている。
事務効率性	2	2	他施設や旅行事業者等との協力を進めており、投入された人員に見合った成果をあげている。
必要性	3	2	宣伝事業は施設運営に不可欠の事業である。
小計	9 /12 満点中	8 /12 満点中	
市民参加度	1	1	利用者へのアンケートを継続して実施している。
合計	10 /15 満点中	9 /15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	施設内の機器やコンテンツが陳腐化しつつある中で、宣伝事業だけが一人歩きはできない。年度ごとに企画展の内容が異なるため、集客数も一定でないが、来館意欲を高めるようなPRイベントの実施を検討したい。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

費用対効果の観点から、高速道路のサービスエリアへのパンフレット設置委託事業を廃止し、経費の節減に努めた。

⑧今後改善すべき点

来館者のうち児童生徒層をターゲットとした宣伝事業の企画立案が必要。

⑨平成17年度予算に反映する項目

コンテンツ「触れる地球」を使ったイベントの実施

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	企画部	情報ネットワークセンター	内線等	66-1717
----	-----	--------------	-----	---------

事業コード		事務事業名	教育情報化支援事業		
根拠法令等	蒲郡情報ネットワークセンターの設置及び管理に関する条例		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
市民とともに歩むまちづくり	地域情報化

②事務事業の内容

対象(受益者)	一般市民、児童・生徒に対して
手 段	科学館コンテンツの教育現場での活用と生涯学習テーマとしての利用を促進しながら、ハード面・ソフト面から教育の情報化を支援することにより
想定する成果	生涯学習と教育環境の充実を図る

③事業の概要

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
学校との共同企画事業	4	7	5
学校との共同企画事業参加者	481人	501人	500人
ネット環境の整備済小中学校	20校	20校	20校

④成果指標

成果指標名	①	②
成果指標名	1 連携事業あたりの参加者数	ネット環境の整備率
成果指標の説明	学校との共同企画事業参加者数/学校との共同企画事業数	ネット環境の整備済小中学校/全小中学校×100

⑤事業の進捗状況 (一般会計) (千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	100人
	実績	120.3人	71.6人	-
成果指標 ②	計画	-	-	100%
	実績	100%	100%	-
事業費	事業費	6,462	4,966	4,800
	人件費	9,089	5,682	4,176
	(人数)	1.1	0.7	0.5
	合計	15,551	10,648	8,976
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	15,551	10,648	8,976

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	web環境の整備、既存の情報資産を活用したコンテンツ制作、コンテンツを利用した学習機会の提供などの支援事業については一定の進捗が見られたが、教育現場での活用支援まで至らなかった。
経済効率性	2	2	事業費のほとんどが学校ネットワークを支えるシステム等の維持費であるが、ソフト面での成果は職員の努力によるものであり、経済効率性は高い。
事務効率性	2	2	教育現場に対して一方的なアプローチとなる傾向があり、職員の努力が教育現場に確実に届くようにしなければならない。
必要性	3	3	教育の情報化は教育委員会の本務であるが、ネットワークのしくみづくりや今後の方向性に対する助言など、サポートしていかなければならない部分はまだまだ多い。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	学習機会の提供に際して参加者の要望をアンケートしている。
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	国は教育のIT化を重要課題としており、教育委員会はこれを推進すべく鋭意努力しなければならない。しかし、センターが教育現場に対して積極的にアプローチをしても、問題解決にはつながらない。まだまだ教育現場とのコミュニケーションが不足している。
------	---	---	--

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

- ・ケーブルテレビ網を活用した統合情報支援システムを推進するプロジェクトの中で、小中学校の全教室にパソコンを配置し、インターネットの授業での活用等について検証した。
- ・学校間ネットワークを整備し、学校間の情報共有、相互交流を図るためのグループウェアを稼働した。
- ・イントラWEBサイトを構築し、各学校への補助教材の提供や各種教材の共有を可能にした。

⑧今後改善すべき点

- ・ハード面での条件整備の支援はほぼ完了したが、教育現場での情報資産の有効活用を促進する必要があり、教師へのさまざまなサポートが課題としてあげられる。

⑨平成17年度予算に反映する項目

- ・教育委員会が予定している教員へのパソコン配備にあたって、経済効率性に留意したサポートを行う。

⑩組織、人員に関する提言

教育委員会に、情報化を専門に担当する職員（教員）が必要である。

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	企画部	情報ネットワークセンター	内線等	66-1717
----	-----	--------------	-----	---------

事業コード		事務事業名	産業情報化支援事業		
根拠法令等	蒲郡情報ネットワークセンターの設置及び管理に関する条例		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
市民とともに歩むまちづくり	地域情報化

②事務事業の内容

対象（受益者）	市内の事業者に対して
手 段	産業の情報化を促進するための基礎スキルを指導し、情報化施策の展開を支援することにより
想定する成果	情報化を担える技術を身に付け、情報化施策を自主展開できるようにする。

③事業の概要

(件)

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
夢織人アクセス数	164,404	169,518	175,000
がまグネットアクセス数	82,800	107,666	120,000
観光情報アクセス数	(統計なし)	209,916	260,000

④成果指標

①

②

成果指標名	夢織人ホームページアクセス数の延び	がまグネットホームページアクセス数の延び
成果指標の説明	前年度アクセス数／当年度アクセス数	前年度アクセス数／当年度アクセス数

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	103.2%
	実績	-	103.1%	-
成果指標 ②	計画	-	-	111.5%
	実績	184.0%	130.0%	-
事業費	事業費	1,642	821	821
	人件費	4,958	1,623	835
	(人数)	0.6	0.2	0.1
	合計	6,600	2,444	1,656
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,600	2,444	1,656

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	初期目標としていたインターネットを活用した情報提供技術の支援についてはほぼ達成でき、がまぐねっと事業や夢織人事業が自主展開できるようになった。また、観光協会が独自に情報発信できるようになった。
経済効率性	2	2	技術サポートが中心で事業費に占める人件費の割合が高くなっているが、ITのスキルアップが進み、事業の独自展開が可能となってきたので、支援の機会も少なくなっており、事業としては望ましい傾向にある。
事務効率性	2	2	特定の職員に事務が偏るが、投入された人員に見合った成果をあげている。
必要性	2	2	市内産業界の情報化を今後も支援する必要があるが、事業を自己展開ができる力を培ってきているので、情報化の次段階をめざした施策展開につなげる支援が必要である。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	0	-	各事業の立ち上げ時期には多くの市民参加があったが、現状では市民参加はいない
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	産業の情報化の方向性について関係者と協議し、支援の内容や方法について検討の必要がある。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

- ・蒲郡市の5つの商店街と1つの発展会が共同で立ち上げたホームページ「がまぐねっと」作成を技術支援。
- ・三河テキスタイルネットワーク協議会で運営する、三河繊維産地の情報を発信するサイト「夢織人」立ち上げを支援
- ・携帯情報端末「ナビノ助」を使った新しい形の観光事業となる「観光マルチメディアパイロットタウン事業」を展開。事業終了後、ナビノ助に蓄積された情報は、携帯サイトに再編した。
- ・マルチメディアパイロットタウンで蓄積した情報は、蒲郡市観光協会のホームページに再編し、多国語化して公開した。

⑧今後改善すべき点

市内産業界のITスキルアップをさらに進める必要があり、どのような支援方法が適切か見極めながら具体的な施策を企画立案する。

⑨平成17年度予算に反映する項目

産業界の人材を対象とした動画研修の実施

⑩組織、人員に関する提言

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

平成15年度事務事業評価表

担当	企画部	情報ネットワークセンター	内線等	66-1717
----	-----	--------------	-----	---------

事業コード		事務事業名	情報コミュニティ事業		
根拠法令等	蒲郡情報ネットワークセンターの設置及び管理に関する条例	A法令	B条例	C規則	Dその他 Eなし

①総合計画での位置付け

基本目標	施策名
市民とともに歩むまちづくり	地域情報化

②事務事業の内容

対象（受益者）	一般市民に対して
手 段	多様な手段を使った情報発信を行うことにより
想定する成果	必要な行政情報がいつでも入手できるようにする。

③事業の概要

(件)

項 目	平成14年度実績	平成15年度実績	平成16年度計画
ホームページのアクセス数	1,015,000	1,552,000	1,800,000
FAX行政サービスアクセス数	440	515	500

④成果指標

①

②

成果指標名	前年比ホームページアクセス数の伸び	FAX行政サービスアクセス数累計
成果指標の説明	前年度ホームページアクセス数/当年度ホームページアクセス数	FAX行政サービスアクセス数累計

⑤事業の進捗状況

(一般会計)

(千円)

		平成14年度決算	平成15年度決算	平成16年度予算
成果指標 ①	計画	-	-	116.0%
	実績	260.0%	152.9%	-
成果指標 ②	計画	-	-	2,533
	実績	1,518	2,033	-
事業費	事業費	2,684	2,347	2,350
	人件費	8,263	2,435	2,506
	(人数)	1.0	0.3	0.3
	合計	10,947	4,782	4,856
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	10,947	4,782	4,856

⑥事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	情報発信を他人任せにしないという発想から県内自治体の中では最も早期にホームページを開設した。アクセス数は市の人口規模を勘案すると、非常に多いと考えることができ、市民との情報共有の場として有効に機能していると考えられる。
経済効率性	3	3	通信技術の進歩への対応や通信業界の価格競争から生じるコスト削減に対応しながら事務を進めており、投入された予算に見合う効果を引き出している。
事務効率性	2	2	ホームページの運用管理においては、特に情報更新が重要であるが、担当課の責任においてこれを行っており、センターとして多数の人員割り当ては不要である。
必要性	3	3	インターネット環境を利用した情報提供及び行政の説明責任の遂行は、今後ますます重要視されていくため、市として推進していく必要がある。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	市民ニーズを把握するため、ホームページの様々な場所でメールアドレスを公開し、意見収集を行っている。
合計	12 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

※達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	A	市民と情報を共有するにあたって、視点の違いなど情報づくりの段階から留意しなければならないポイントは多い。職員のスキルを向上させ、より必要とされるホームページとなるようにしていかなければならない。
------	---	---	---

※総合評価は、A～Dまでの4段階評価

⑦これまでに実施した改善点

- ・平成7年公式ホームページ開設
- ・平成9年FAX行政情報提供サービス開始
- ・平成11年「市政ホットニュース開始」。全課のホームページ完成。
- ・平成12年市民生活に関連の深い情報を集めた「くらしの情報」開設。携帯電話専用サイト開設。「申請書配信サービス」開始

⑧今後改善すべき点

FAX行政情報提供サービスの利用度は、パソコンの家庭への普及率の上昇と反比例の関係にあり、次期システム更新時にはサービスの存続を考慮する必要がある。

⑨平成17年度予算に反映する項目

WEBサーバーがリースアップ時期を迎えるが、激増するホームページアクセスに対応するため、IPの統合を含めたサーバー管理の効率化と経済効率性を考慮に入れ予算要求する。

⑩組織、人員に関する提言

--

※各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載